

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年7月25日～2016年7月31日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成28年8月3日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼「アブハジア共和国首相」の辞任(26日)

・ハジンバ「アブハジア共和国大統領」は、ミクヴァビア「首相」による辞意の表明を受け、同「首相」の解任に関する「大統領令」に署名。同「大統領令」により、アジンバ「第一副首相」が「首相代行」に任命された。

【南オセチア】

▼露ガスプロムとの合意(25日)

・南オセチアの報道によれば、露ガスプロムの関係者がツヒンヴァリでティビロフ「南オセチア共和国大統領」と会談。ガスプロムが南オセチアに支社を設置し、ガスの供給を管理することで合意。

2. 外 政

▼ハンガリー外務・貿易相がジョージアを訪問(27日)

・シーヤールトー・ハンガリー外務・貿易相がジョージアを訪問。ジョージア大使会議に出席し、ジャネリゼ外相と会談した。会談では、貿易・経済関係および共同のインフラ・プロジェクトに焦点を当てつつ、二国間関係、ジョージアのEU・NATO加盟および欧州が直面している課題について議論。投資促進・保護協定に関する協議を完了する必要性が強調された。「シ」ハンガリー外務・貿易相は、ジョージアのEU・NATO加盟およびジョージアに対するEUの査証自由化へのハンガリーの強い支持を改めて確認。

▼NATO戦略通信センターとジョージア国防省の協力覚書(28日)

・リガにて、ヒダシェリ国防相がNATO戦略通信センターとジョージア国防省との間の協力覚書に署名。覚書によれば、戦略的通信の発展に向け、両機関はさまざまな共同プロジェクトを実施し、経験・情報を共有する。

3. 内 政

▼憲法裁判所長官が大統領と会談(25日)

・7月21日に、「政府に有利な判決を下すよう、憲法裁判所の裁判官の一部が圧力や脅迫を受けている」と発言したパプアシヴィリ憲法裁判所長官が、25日、トビリシでマルグヴェラシヴィリ大統領と会談。

・会談後、「マ」大統領は、憲法裁判所長官が指摘した傾向は「残念ながら目新しいものではない」として、憲法裁判所長官の発言を批判した与党議員らを批判し、1か月

ほど前に自身の家族が街頭で警官に呼び止められ、裁判所の命令がないにも拘らず自宅を捜索されたとして、その人物に対する圧力の行使が試みられたと発言。5月の地方議会補欠選挙の際のコルツヘリ村での殴打事件にも言及し、「政治グループが法執行機関およびその他の組織と非公式な繋がりを持ち、その関係を政治的な目的に利用する危険な兆候」に適切に対処せねばならないと述べた。

・大統領の発言を受け、内務省は、銃器の不法所持の容疑について捜査の対象となった3名の男性のなかに大統領夫人の娘婿が含まれていたと発表。

・クヴィリカシヴィリ首相は、捜査について政治的な動機を否定。

・26日、検察は捜査を開始し、憲法裁判所の裁判官の尋問を開始。一部の裁判官は自身に対する圧力を否定。

・「ハ」憲法裁判所長官は27日に「ク」首相と会談した後、翌28日にショタゼ検事長と会談。

▼米国際民主研究所による世論調査(27日、29日)

・米国際民主研究所が6月8日から7月6日にかけてジョージア国内のさまざまな地方に暮らす4113名を対象に対面調査を行なった結果を発表。

・ジョージアは「正しい方向に進んでいる」25%、「変わっていない」34%、「誤った方向に進んでいる」33%。

・2012年10月以降、自身および家族の暮らし向きは「良くなった」17%、「変わらない」51%、「悪くなった」32%。

・国の最も重要な問題(3つまで回答)は、雇用56%、貧困29%、領土一体性28%、物価の上昇・インフレ26%、年金25%。

・EU加盟を目指すジョージア政府の目標に「賛成」72%、「不賛成」16%。年代別では、若年層ほどEU加盟を支持している。NATO加盟を目指すジョージア政府の目標に「賛成」64%、「不賛成」22%。

・ジョージア外交は「欧米志向であるべきだ」13%、「欧米志向でありながら、ロシアとも良い関係を維持すべきだ」48%、「親露志向でありながら、EU・NATOとも良い関係を維持すべきだ」20%、「親露志向であるべきだ」6%。

・国会選挙で投票するに当たり最も重視する各党の考えは、経済政策41%、医療保険14%、国の安全保障11%、法の支配9%、外交政策8%、教育政策6%。

・もし明日国会選挙が行なわれた場合、「投票する」67%、「投票しない」33%。もし明日国会選挙が行なわれた場合、自身の投票先は「決まっている」38%、「決まっていない」57%。年代別では、若い層ほど投票先が決まっていない傾向がある。

・自身に最も近い党は「いずれの党でもない」27%、ジ

ジョージアの夢・民主ジョージア党 19%, 統一国民運動 15%, 国民のための国家 5%, ジョージア愛国者連合 5%, 自由民主主義者党 4%, 労働党 4%。

・もし明日国会選挙が行なわれた場合、投票する党は「分からない」38%, ジョージアの夢・民主ジョージア党 17%, 統一国民運動 13%, 国民のための国家 4%, ジョージア愛国者連合 3%。

・もし明日国会選挙が行なわれた場合、勝利すると思う党は、「分からない」39%, ジョージアの夢・民主ジョージア党 36%, 統一国民運動 11%, 国民のための国家 3%。

▼国防相、和解・市民平等担当国務大臣の辞任(28日)

・クヴィリカシヴィリ首相は、ヒダシェリ国防相およびザカレイシヴィリ和解・市民平等担当国務大臣の辞任を承認。政府によれば、新しい大臣の候補者は近日中に明らかにされる。

4. 経済

▼経済・持続的発展相の訪中(30日)

・クムシシヴィリ経済・持続的発展相が中国を訪問。
・26日、上海で開催された中国・ジョージア投資フォーラムに出席し、ジョージアの経済状況、優良な投資環境、進められている改革について演説した。自由貿易協定をめぐる協議や共同貿易・投資評議会の創設に関する両国間の合意にも言及。また、新シルクロード構想をめぐるジョージアと中国の協力、とくにジョージアと中国が共催したトビリシ・シルクロード・フォーラムの重要性を

強調した。2016年11月にトビリシで第2回目のフォーラムが開催される予定。

・28日、「ク」経済・持続的発展相は楊雄・上海市長と会談し、ジョージアへの投資の誘致、ジョージア製品の輸出およびジョージアワインの普及の促進などについて議論。会談には、陳秋途・中国華信能源有限公司(CEFC China Energy) 総裁も同席した。

・上海テクノパーク、上海自由貿易試験区を視察。その後、劉奇・江西省知事と会談。南昌で開催されたビジネス・フォーラムに出席。

▼政策金利の引き下げ(27日)

・国立銀行は政策金利の7%から6.75%への引き下げを決定。国立銀行は、「インフレ目標を達成するため、段階的に金融緩和を行なう」として、中期的に6%に引き下げるとコメント。当面は低いインフレ率が続くが、2017年末にインフレ目標4%が達成されると予測している。

・国立銀行は2015年2月から2015年末にかけて4%から8%まで政策金利を引き上げたが、2016年4月以降、段階的に引き下げに転じた。

▼2016年6月の経済成長(30日)

・2016年6月の実質GDP成長率は前年同月比2.9%。2016年1月～6月の実質GDP成長率の平均は前年同期比2.9%。

4. その他

▼マグニチュード3.7の地震(28日)

・午前9時27分、黒海沿岸のコブレティ付近を震源とするマグニチュード3.7の地震が発生。被害はない。